

SEROW225

1985年 / 市販車

「上る・下る・転ぶ」「競うから挑む・楽しむへ」

険しい地形でも走破する軽やかさと力強さを併せ持つヒマラヤカモシカをイメージしてデザインされた。

「二輪二足で踏破する喜び」という基本コンセプトで山の懐へ深く分け入る“遊び”に必要な性能・機能をもつマウンテントレール（林道、山道、獣道、あるいは道なき山奥など）。粘り強さと十分なパワーを兼ね備えた4ストローク・223ccの単気筒エンジンに始動性の向上や減速時にも使えるセミオートデコンプ機構を採用し、山遊びに最適な軽量でスリム、810cmの低シート高や51°のハンドル切れ角、3ヶ所のグリップを備えた車体は扱いやすく、街乗りにも最適でオフロードファンだけにとどまらず、女性やビギナー、初心者から熟練者まで幅広いライダーに受け入れられた。モーターサイクルの遊びや楽しさを広げ、セローというカテゴリーを確立した。基本コンセプトは変えずアップデートを重ね35年のロングセラーとなった。

通常、モデルネームは製品開発が終了し市販車となることが決定した時点で与えられるものだが、このモデルはデザイン開発時点で複数の候補名とデザインコンセプトをセットで展開した中から「セロー」が選定された。



COMMUNICATION
P L A Z A